



美浜地区都市景観整備設計業務技術提案書

アメリカンヴィレッジの可能性

日本政府と米国政府との日米安保の取り決めにより、戦後60年を経た現在でも沖縄には、日本全体のアメリカ軍専用施設の約75%が存在し、沖縄本島の20%を占めている。そのなかでも北谷町は、米軍基地の占める割合が54%（772ha）で県内でも3番目の基地占有率となっており、長い間町民は米軍基地との共存を余儀なくされている。

しかし北谷町はこの逆境を逆手にとり、持ち前の大らかな気質と大交易時代から育まれた精神で、基地という「負」の遺産をもプラスに転じてきた。そして誕生したのが、現在のアメリカンヴィレッジではないかと考える。

今沖縄で一番エネルギーで賑やかな街であるアメリカンヴィレッジを、若者だけでなく子供から老人までの各々のライフステージにおいて、快適な生活を送れるような街となるよう提案する。

これまでの基地との共生・共存から、21世紀に向けての重要課題となっている自然との共存共栄をテーマとし、自然界に存在する森羅万象を街に具現化する。そこには雨・木々・雲などの様々な視覚的現象が生まれ、一連の自然との対話によりここを訪れた人々の五感に訴えかけるような街、人々に活力を与えるような街が作られる。

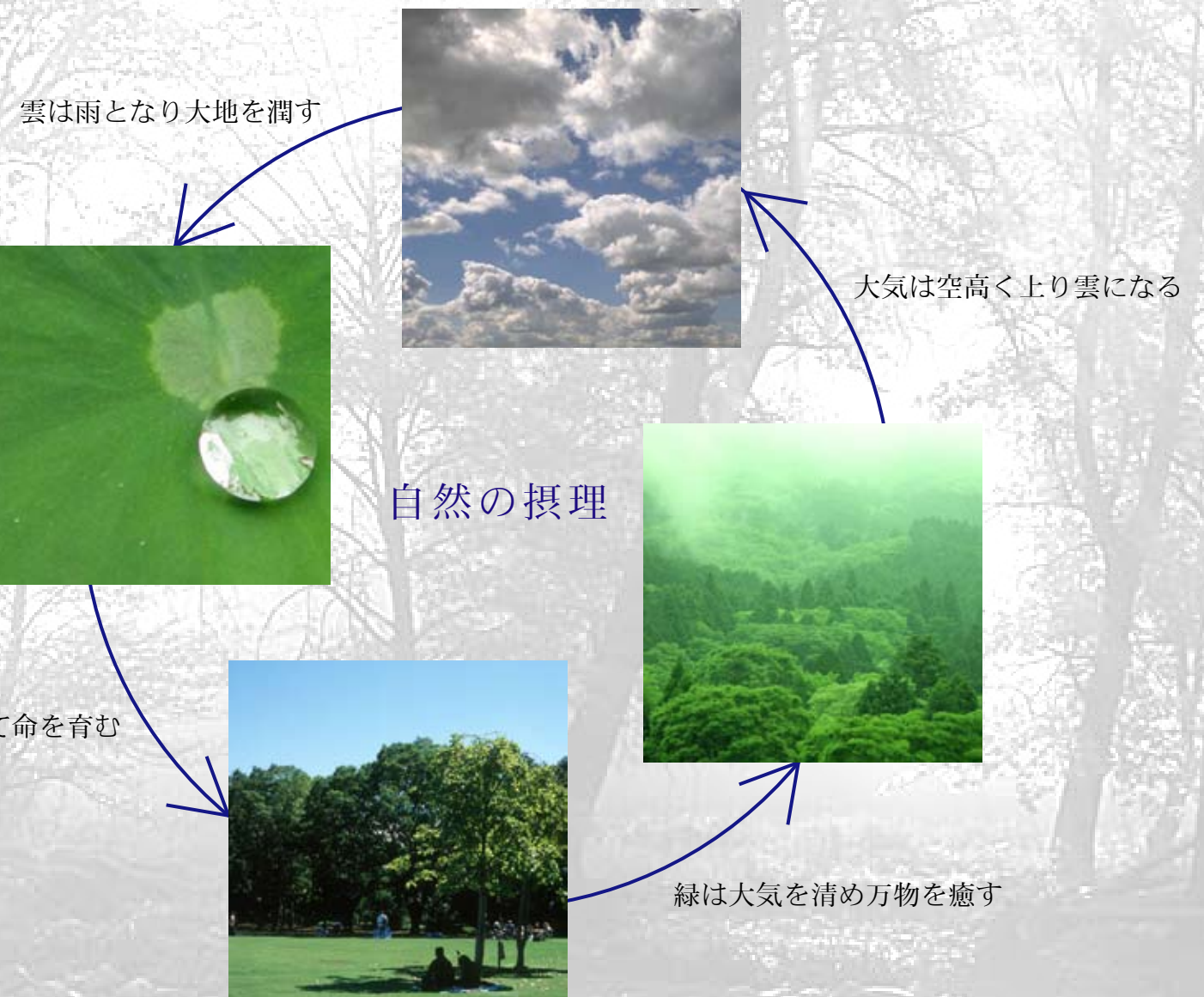
アメリカンヴィレッジは国際交流の拠点として、また自然環境との交流の場として、インスピレーションに満ちた街へとさらなる変貌を遂げるであろう。

自然への回帰～涼を求めて～

北谷町はここ数年で急成長を遂げた、沖縄の中で今最も熱気のある街である。そしてその中心は言うまでもなくアメリカンヴィレッジである。しかし、その開発の副作用ともいえる問題も現れてきた。

様々な種類の店舗が建ち並び、一見通りは活気づいているように見えるが、そこを歩く人を見かけることは少ない。それぞれの店舗が「点」として点在しているだけで、それらを結ぶ「線」となる路がないのである。なぜならそこには『陰』ないからだろう。人々は暑い通りを歩くことを避け車で店舗を移動する。コンクリートの建物、アスファルトの道路、そして渋滞する車だけの街の景色。これが本当の街の賑わいなのだろうか？それが今のアメリカンヴィレッジの姿である。

— 開発は成功を収めてきた。人々も集まってきた。今度は人々を留まらせよう。そして、本当の賑わいを創ろう。 —



開発された街にもう一度自然力を注いでいく。自然の営みを見直し、自然との対話を楽しみ、緑・水・風を取入れて街に『陰』と『涼』を創っていく。ここに訪れた人々は『陰』と『涼』に憩いと癒しを求め、そこに集い、活きた賑わいを生み出していくであろう。

人々が通りを行き交い、『街歩き』を楽しむことのできる街が大切だと考える。街歩きを通して、新しい発見と歩くことの楽しみを感じてもらい、アメリカンヴィレッジ・美浜地区の良さを再認識して欲しい。そこから更なる街の発展の道が開かれると考える。

— 自然を敬い、自然と対話する街を創ることが、21世紀の街、未来に繋がる街になるのではないだろうか —

アメリカンヴィレッジの現状と提案

アメリカンヴィレッジの現状として、敷地の広さの割合からみて、休憩出来るような影になるスペースが非常に少ないと思われる。結果として通りを歩く人、休憩する人、留まる人がいない街になっている。

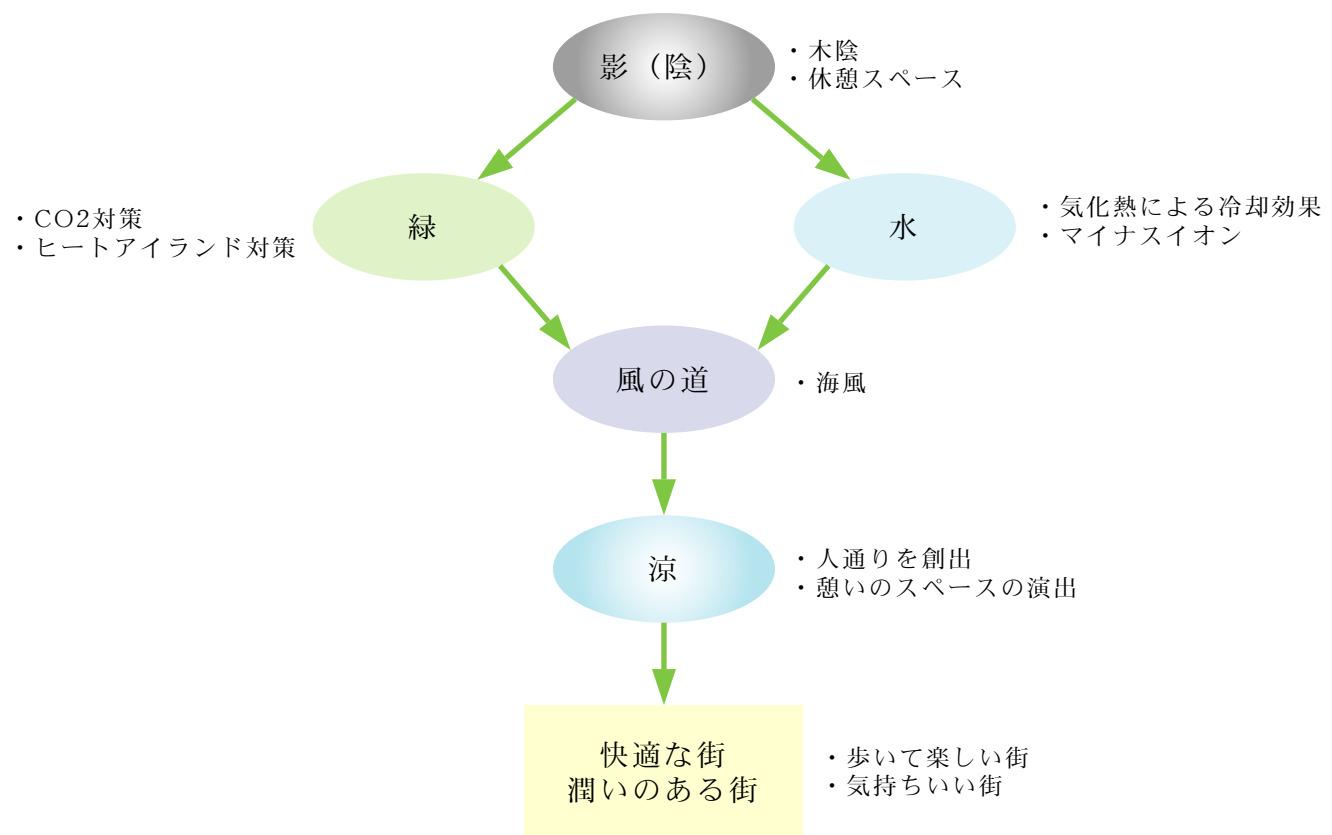
解決策として、まずは街に「涼」のスペースを創出することが必要である。その演出として今回は『自然への回帰』をコンセプトに提案したい。今回の「自然」の要素として、『雨』『緑』『霧』『雲』の4つの要素をコンセプトに、擬似的な自然の循環を演出する。

雨が降り大地を潤し、大地を冷やす。潤った大地では木々が育まれ、その下に木陰がうまれる。木々は大気を浄化し、蒸気を発散させ霧となる。霧は大気に広がり、大空高く昇り雲となる。そして、雲はまた雨を降らす…

この自然の循環をアメリカンヴィレッジの暑さ対策に置き換えて考えてみる。雨や霧等の水は、温度を下げる効果と癒しの効果がある。前者は気化熱として道路や建物を冷やす効果で、後者は水の音、動き等、水と親しむことで効果が得られる。また霧はマイナスイオンを発生させ、更なる癒しの効果が考えられる。木々や緑は現在世界的な問題でもある、温暖化のCO2対策に非常に重要な役割を担っていることはいうまでもなく、近年ではヒートアイランド対策としても都市計画の中で必須の項目でもある。東京の都心の中であって、緑の豊富な皇居周辺では、近隣の市街地より気温が2～3℃も低くなっている。そして何よりも理屈ではなく、人々は木々や緑と親しむことで、無条件に癒されるものである。

これら水や緑の周りには、涼と癒しを求め自然と人々は引き寄せられてくる。そこで木陰や影のスペースがあれば、人々はそこに留まり、人集りがうまれ、新しいコミュニケーションがつけられるのではないかと考える。そこでつくられる賑わいは更なるアメリカンヴィレッジの発展に繋がるであろう。

また、今回の提案は今回だけで留まるのではなく、今後も継続する、美浜地区のよりよい街づくりへの提案に繋がっていくものである。自然の摂理のように、人々が快適に楽しみながら住める街が、永遠に続いていくことを目指している。



名称	場所とテーマ	現状	提案内容
雨の広場	観覧車下の水辺空間演出	水辺空間が殺風景であり、閑散としている。アメリカンヴィレッジの玄関口でもある交差点に面しているが、顔となる空間としては非常に劣悪な状況である。	水辺空間に人々の集まれる空間、階段状の緑地帯とステージを配置する。ステージ上では噴水を設置し、街の顔となる水の演出を施すとともに、人々を呼び込んで、憩いの広場とする。
霧のステージ	ステージでの『涼』『癒し』の演出	水辺空間に下りられるようにはなっているが、利用者はほとんどおらず、ただの空きスペースとなっている。そこには影も見えないため、人が集まらないのだと考えられる。	水辺空間に集まってきた人々を立ち止まらせ、そこで涼をとれるように噴水とともに霧を発生させる。霧にはマイナスイオンによる癒しの効果がある。この霧空間に身を置く事で『涼』と『癒し』の両方を得ることができる。
雲のロード	表通りに影の空間を創出	国道58号線から、観覧車や映画館のある交差点へと繋がる通りには、影となる場所がない。人々は通りを歩く事がなくなり、車を使って店舗間を移動している。結果、表通りには人がおらず、広い歩道がさらに閑散としてみえる。	雲をイメージしたテントを通りに点在させ、影の空間を創りだしていく。そこで人々は休憩をし、時には待ち合わせ等を行うことができる。これにより、通りに人の足が向き、歩いて街を散策するきっかけがつけられると考える。
木立のトンネル	駐車場横の通りに木陰空間を演出	駐車場とジャスコの間の通りには大きな植栽の並木があるが、並木道と呼ぶほどの緑はない。本来ならアメリカンヴィレッジの中心から、サンセットビーチへと繋がるメイン通りになる場所だが、人通りも少ない殺風景な通りとなっている。	植栽との間にパーゴラを設けて、通りに木陰となるトンネルを創りだす。そのトンネルを利用するのは、アメリカンヴィレッジを訪れた人々だけでなく、地元住民にもサンセットビーチへ繋がる散歩コース、ジョギングコースとして親しまれるであろう。



写真1：劣悪な状況の水辺空間



写真2：人通りのない表通り



写真3：影の無い閑散とした歩道

提案概要と今後の展開

1.霧のステージ

閑散とした水辺空間を演出し、新しいアメリカンヴィレッジの顔となる空間をつくる。

現在、目立った利用のされていない観覧車下の水辺空間に、階段状の芝生の広場と水上ステージを設置する。水上ステージには水柱と霧を発生させる噴水を設置する。一定時間ごとに、音に合わせて水柱と霧が立ち上り、水を使った演出が行われる。これにより、現状では人影を寄せつけなかった玄関口に、人々を呼び込む事ができると考える。

ステージでの演出で水と親しむ事で人々は涼を感じ、霧等に包まれる事で、実際に体を冷やす事もできる。また、水の音や水の動きから癒される効果もある。今回提案する噴水の概要は以下のとおりである。

・直上形噴水

ジェットノズルを数箇所設置し、角柱形にノズルを配置して、直上に上げる噴水である。噴水高さは、数十cmのものから、百十cmまで上がる大噴水までであるが、今回の提案としては、人の集まるステージであり、風の影響などに配慮した噴水高までとする。噴水ノズルの本数は並べ置きの形状により変動する。又ノズル口径とノズル本数及びノズル流量によりポンプの容量も変動する。噴水の演出は、ノズルから噴射する水の直上高さをインバーターの周波数変動によりポンプモーターの回転数を制御して、噴水高さを変化させる。又、間欠的に水を噴射するジャンピングも可能である。

・ミスト（霧）噴水

ミストノズルを配置して、霧の演出をする噴水。霧には非常に多くのマイナスイオンが発生するので、身体にはとても良い癒しの環境が生成されることになる。夏場には、空気を冷却するので、涼しい憩いの空間を得ることができる。

ミスト噴水は、霧が人に触れてもほとんど濡れず、水道量に対しても、非常に少なく経済的である。

演出としては、噴水エリアに幻想的な霧の舞いを演出し、霧に照明を照射することにより、夜間は光の幻想的な空間が生成される。運転制御は、タイマーにより間欠運転が可能。又、天候面で、霧は風の影響はあるが、人体や建造物への悪影響はほとんどない。ミスト噴水に使用する補給水は上水の垂れ流しを前提としている。

ミストノズルは非常に精密な構造であり、噴射口径がミクロン単位にあるため、補給水は上水を使用し、かつ専用フィルターに通します。噴射した水は垂れ流しとなりますが、ノズルからの水量は非常に少ない。又、間欠運転制御のため、一日の運転時間が限られ、ランニングコストが非常に少ない利点がある。

・光の演出

噴水施設での運転時間帯は、一日を通して夜間運転する場合がある。噴水での照明装置は昼間と違ったイルミネーション効果により、噴水をより華麗に演出する事ができる。照明器具は、LEDの場合、色の変化を制御できる。

・音の演出

噴水に音楽や効果音を同調する事により、より噴水の演出効果が増し、目と耳による水の舞いを体感する事ができる。



2.雲のロード

国道58号線からのアメリカンヴィレッジに続く表通りは、歩道の道幅が広くとても歩きやすい通りである。しかし、夜は多少人通りも見られるが、昼間はほとんど見かけない。これは、影となるスペースが無い事が一つの原因だと考えられる。そこで、雲の形をイメージしたテントを点在させる事を考えた。

影のスペースを創り出す事で、例えば、そこで歩き疲れた人は休憩する事ができる。また時には待ち合わせの場所として、時には迎えの車を待つ人の待ち合いスペースとしても利用できる。表通りに人が現れる事で、その街の表情は豊かに変わると考えられる。そして、通りを歩く人が増えることで、点と点でしかなかったそれぞれの店舗が、人々の歩いて散策する動線で結ばれることになるであろう。今以上に賑わいのある街をつくる事ができると思われる。

また、このテントの素材には光触媒コーティングされたものを提案する。光触媒の防汚効果により、テント自体が汚れにくく、美観保持にも役立つと考える。



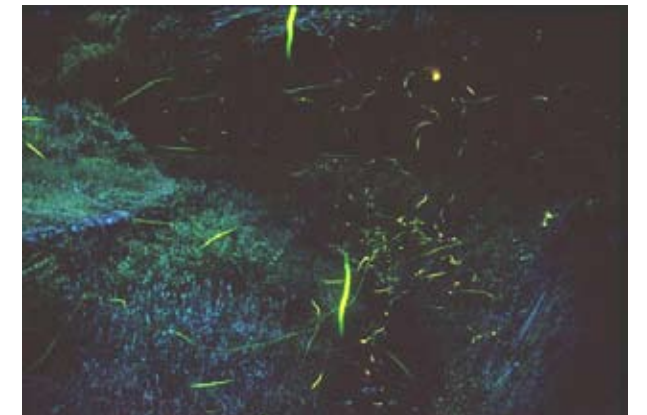
3.木立のトンネル

駐車場とジャスコの間通りにパーゴラを使ったトンネルを設置する。いままで、人通りもなく閑散としていた通りを、緑と花のトンネルをつくる事で木陰がうまれる。このトンネルは、サンセットビーチと、アメリカンヴィレッジのメインの交差点を結ぶメインの通りとなるであろう。そして、このメイン通りでは、地域住民の散策路・ジョギングコースとしても利用できると考えられる。

4.今後の展開

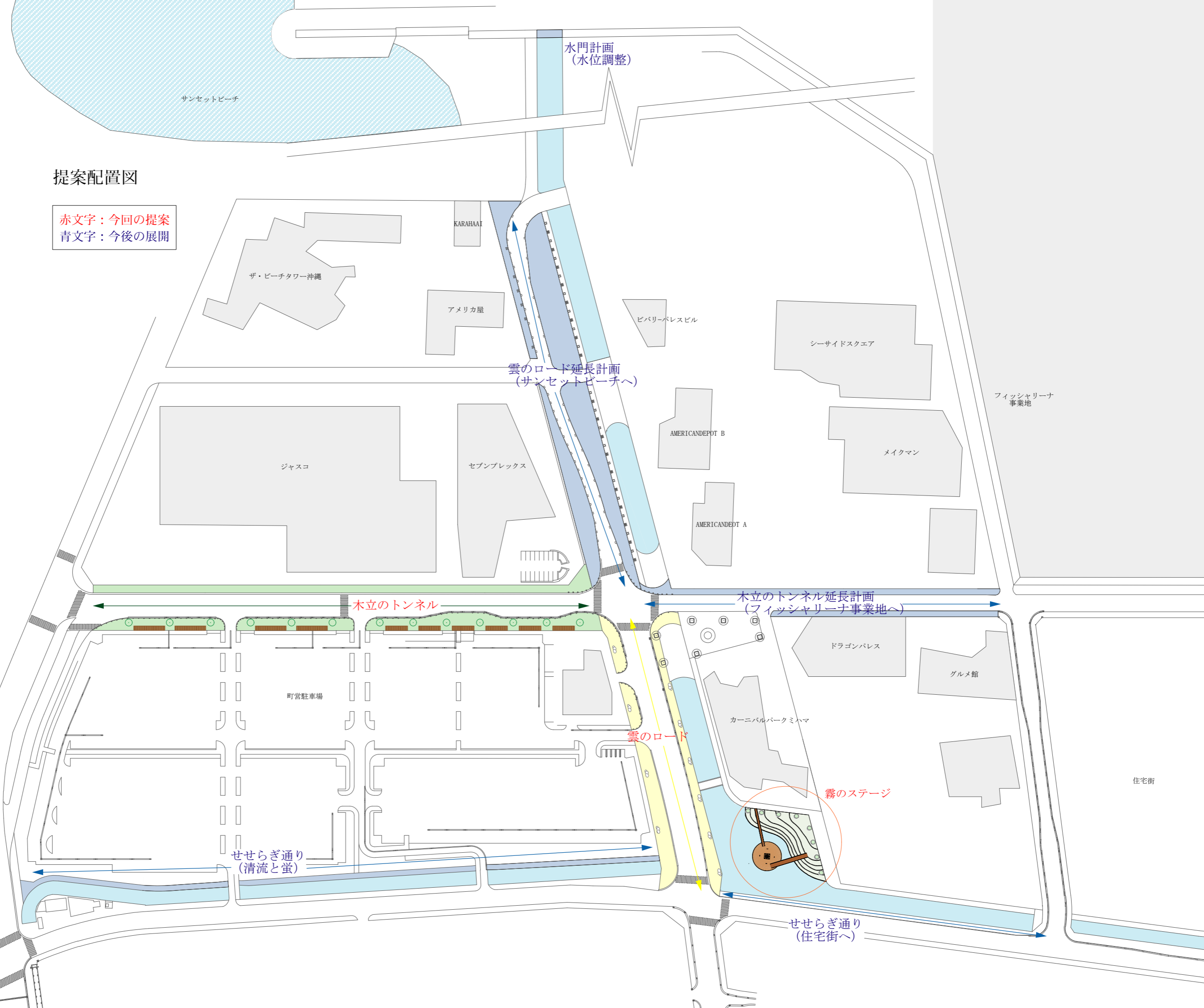
今回の提案では、今後も継続して豊かな街づくりを展開できるよう、未来へ続く提案を考えている。

- ①水辺空間や水路は満潮時は昼、夜ともに町並みを水面に映しこみ、非常に豊かな表情を見せるが、干潮時には水底に溜まった残留物やヘドロ等があらわとなり異臭を放つ。解決策として水路と海の間水門を設け、常に適度の水位を保つよう調整する。深夜は水門を開放し水の入れ替えをし、海水の浄化を計る。
- ②町営駐車場横の水路側にも木陰と、水の演出として清水が流れるせせらぎ通りをつくる。蛍が生息する環境をつくり、「蛍通り」として散策する人々もさらに増えると思われる。
- ③今回提案の雲のロード、木立のトンネルもフィッシャリーナ事業地と結びつけ、延長していくとする。



提案配置図

赤文字：今回の提案
青文字：今後の展開



水門計画
(水位調整)

サンセットビーチ

ザ・ビーチタワー沖縄

KARAHAAI

アメリカ屋

ビバリーパレスビル

シーサイドスクエア

フィッシャリーナ
事業地

メイクマン

ジャスコ

セブンプレックス

AMERICANEPTOT B

AMERICANEPTOT A

木立のトンネル

木立のトンネル延長計画
(フィッシャリーナ事業地へ)

ドラゴンパレス

グルメ館

町営駐車場

雲のロード

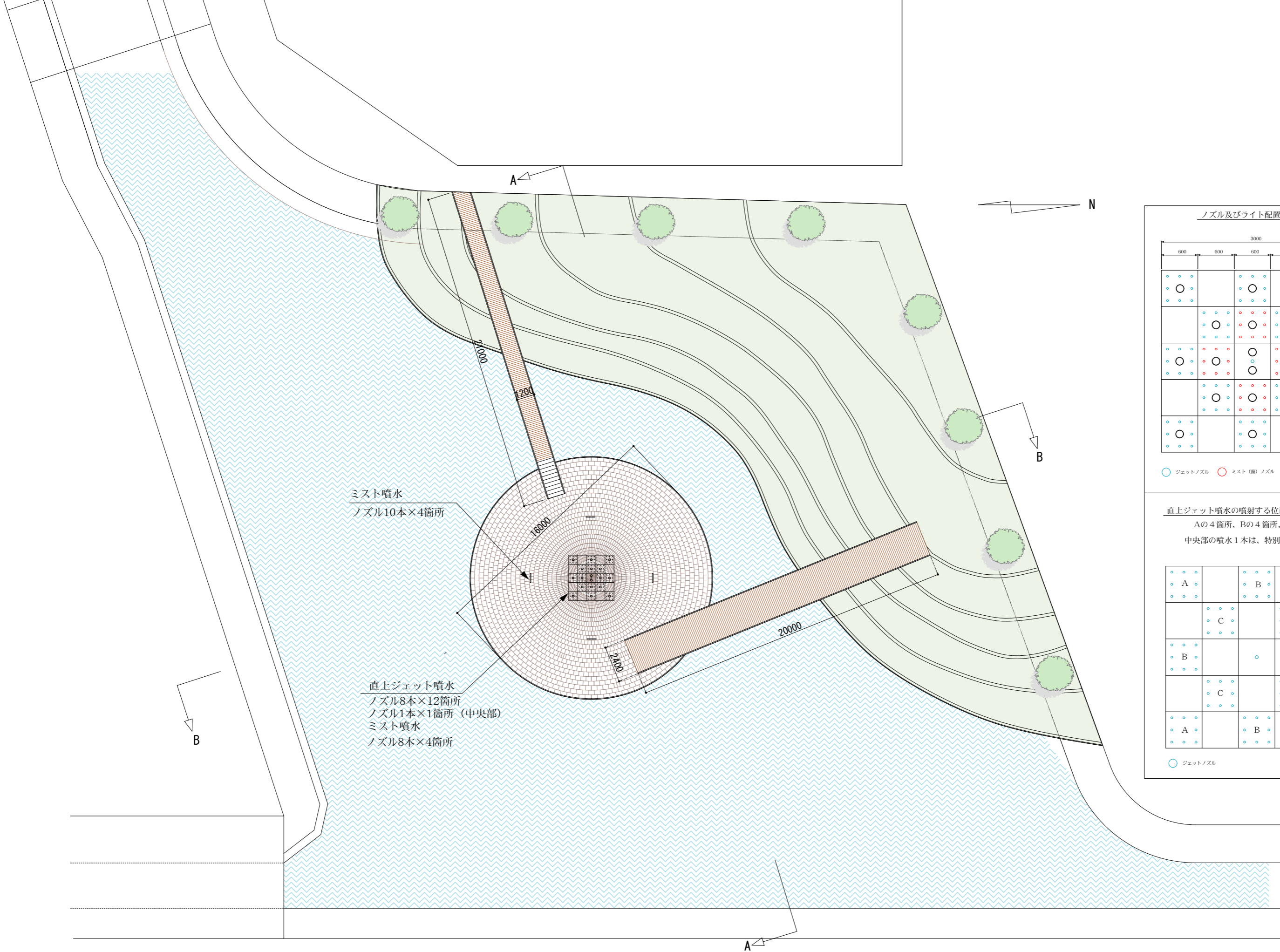
カーニバルパークミハマ

霧のステージ

住宅街

せせらぎ通り
(清流と蜆)

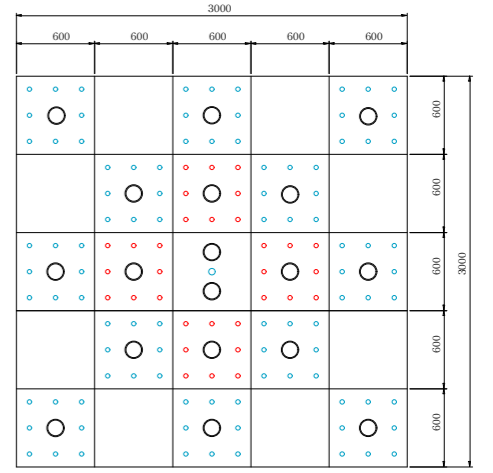
せせらぎ通り
(住宅街へ)



ミスト噴水
ノズル10本×4箇所

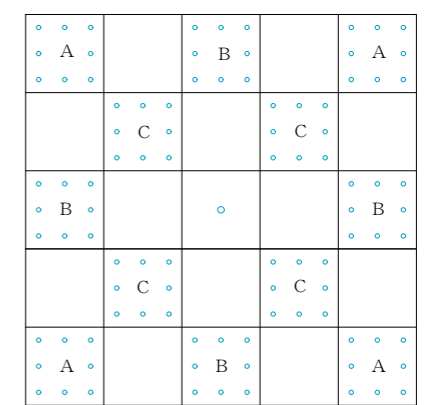
直上ジェット噴水
ノズル8本×12箇所
ノズル1本×1箇所 (中央部)
ミスト噴水
ノズル8本×4箇所

ノズル及びライト配置提案図



○ ジェットノズル ● ミスト (霧) ノズル ○ 水中ライト

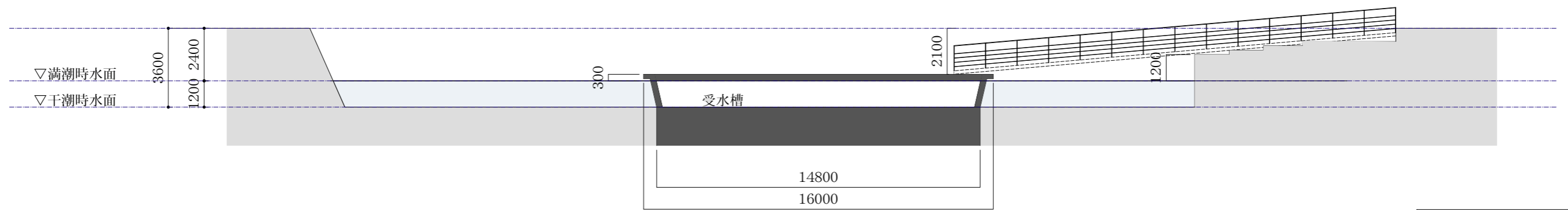
直上ジェット噴水の噴射する位置は3種類で構成します。
Aの4箇所、Bの4箇所、Cの4箇所
中央部の噴水1本は、特別に高く上げる噴水



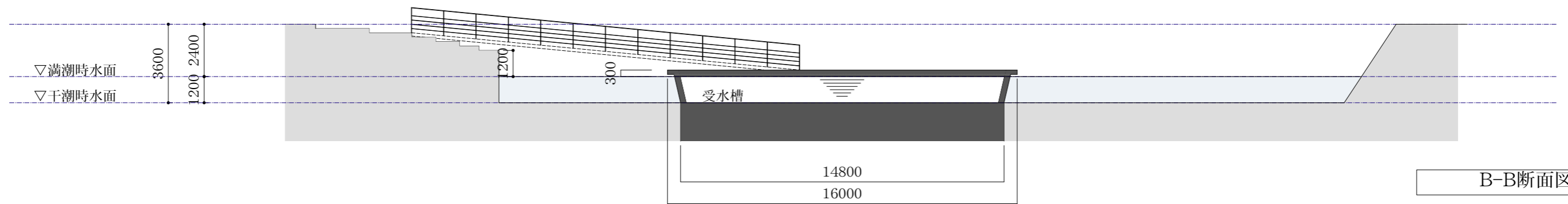
○ ジェットノズル

霧のステージ平面図 S:1/200

噴水イメージ写真



A-A断面図 S=1/200



B-B断面図 S=1/200

霧のステージ断面図 S:1/200

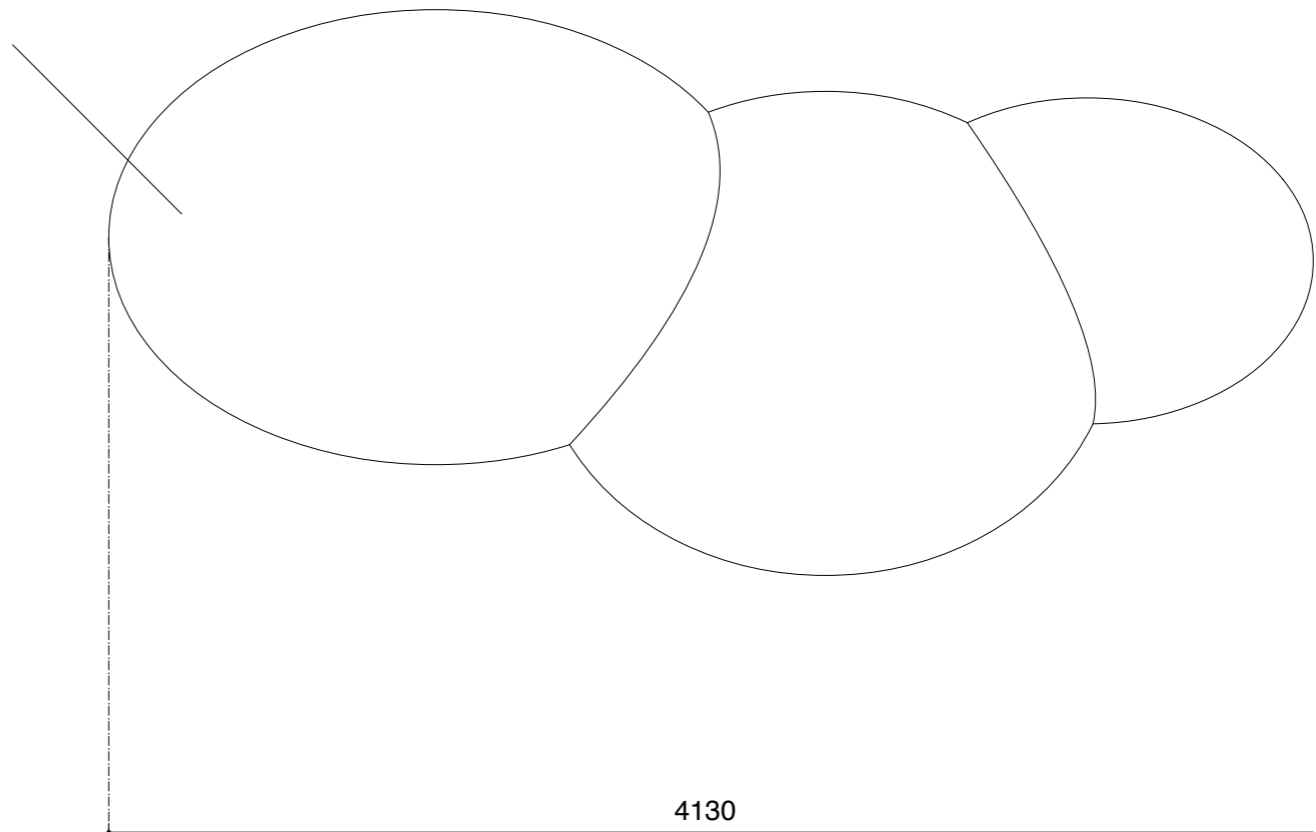
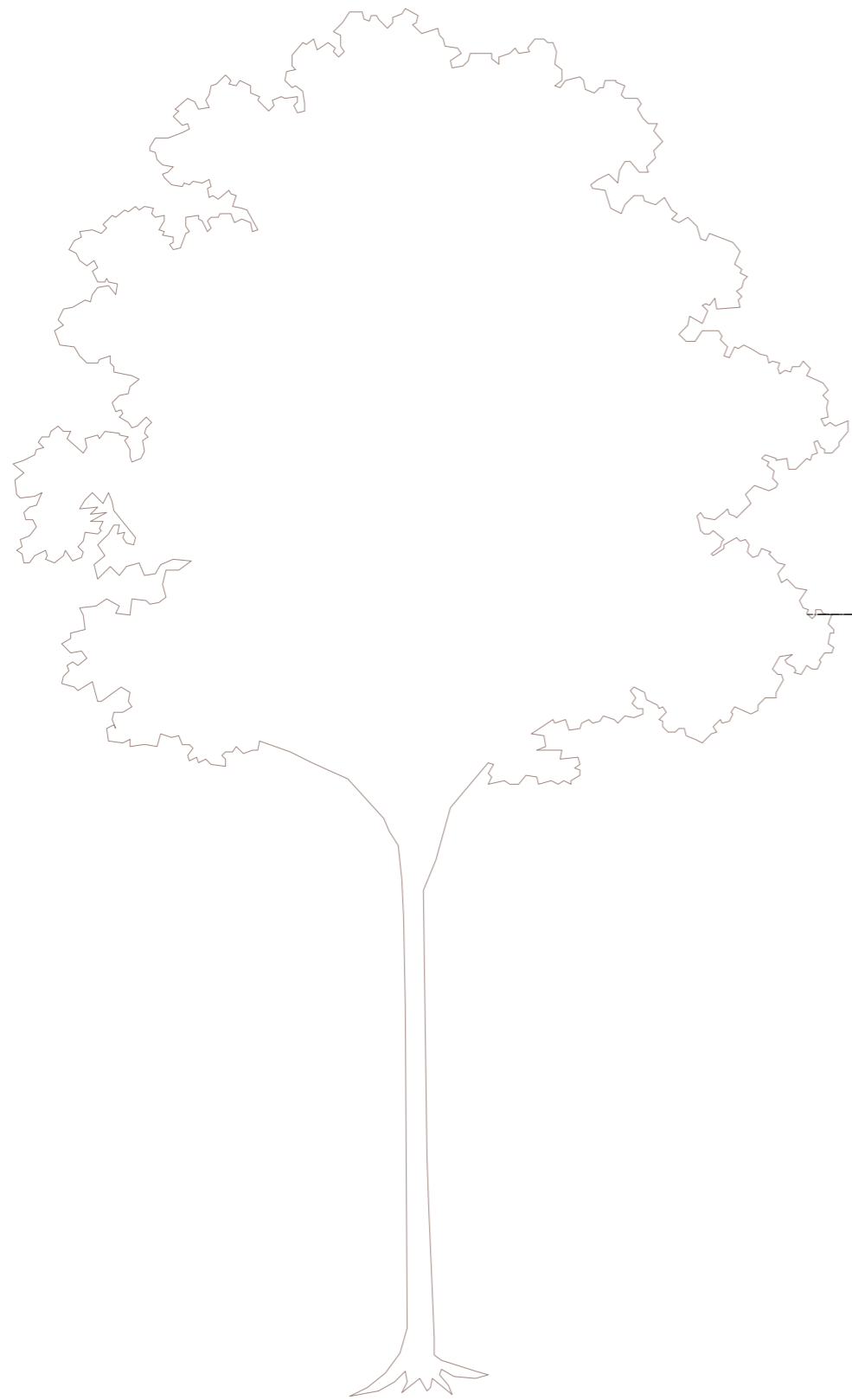


霧のステージ・昼 イメージCGパース

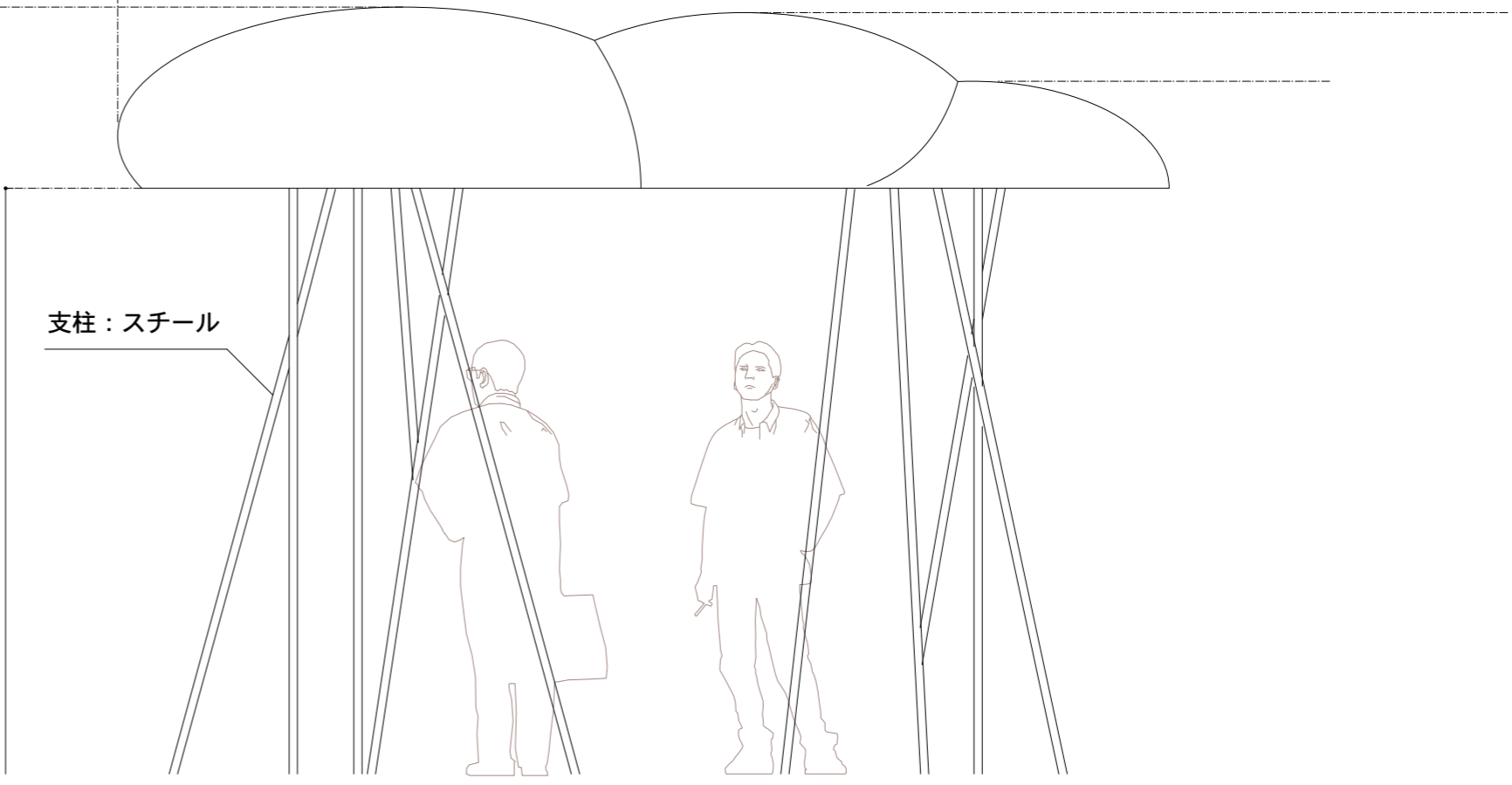


霧のステージ・夜 イメージCGパース





4130



支柱：スチール



雲のロードイメージCGパース

木立のトンネル配置図 S:1/800

ジャスコ

セブンプレックス

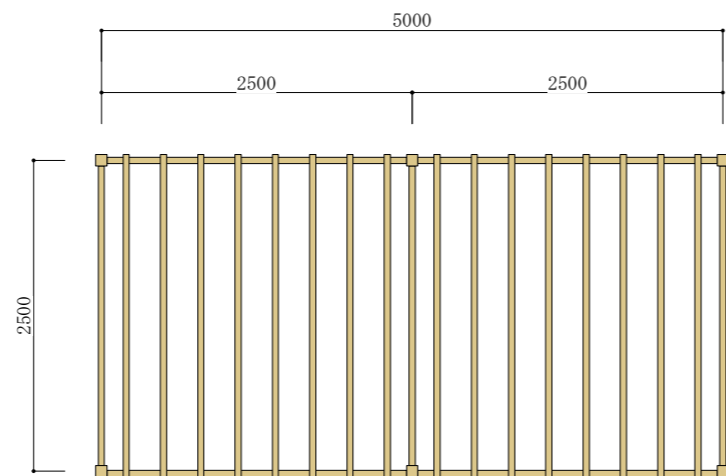
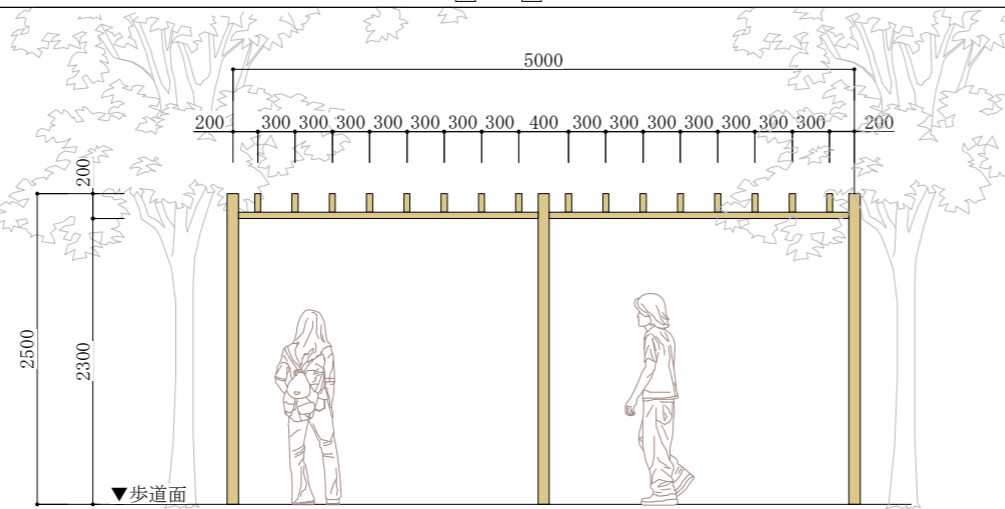
既存フクギ

新設パーゴラ

既存フクギ

新設パーゴラ

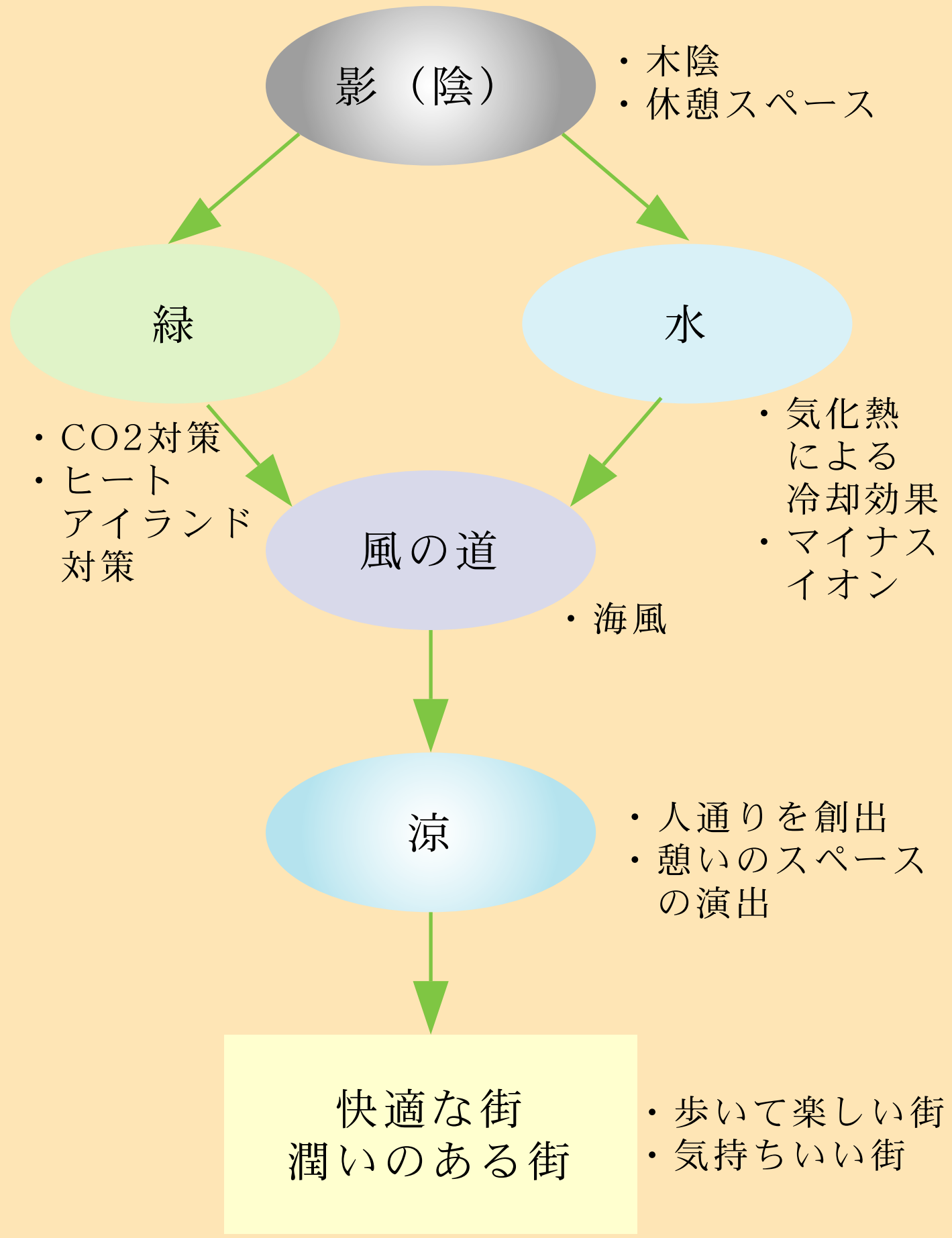
町営駐車場



パーゴラ拡大図

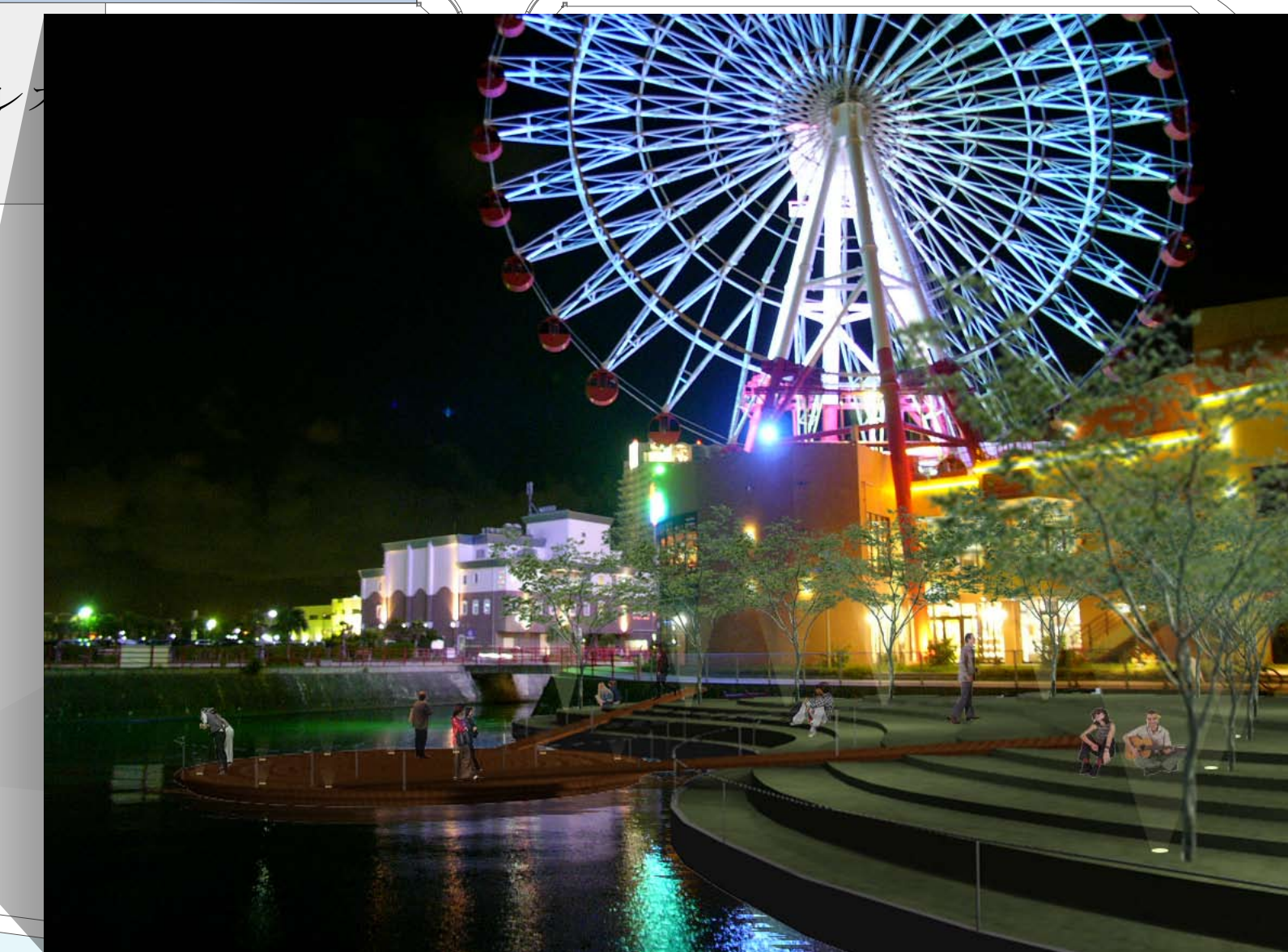
木立のトンネルイメージCGパース

基本コンセプト・ダイアグラム



提案配置図 S=1/1000

美浜地区都市景観整備設計業務技術提案



サステイナブルディベロップメント
sustainable development

—持続可能な開発—
将来の環境や次世代の利益を損なわない範囲内で社会発展をすすめることとする理念。1987年ブルントラント委員会が提唱。



サステイナブルシティーを目指して…
北谷町まちづくり研究会